

保護者の方、先生方、子どもを見守る地域の方へ

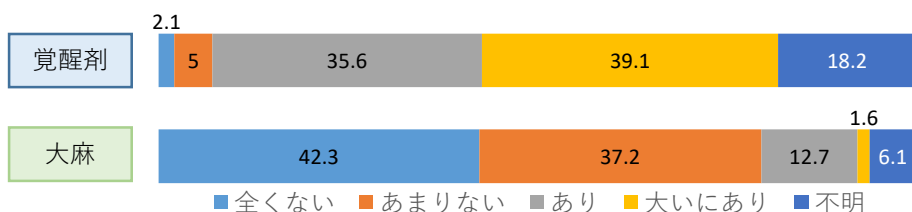
大麻の魔の手から、子どもを守りましょう

大麻事犯検挙人員は、増加傾向が続いています。特に20歳未満の大麻乱用拡大が問題となっています。

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全国	3,578	4,321	5,034	5,482	5,342
兵庫県	269	265	299	312	323
うち20歳未満	51	39	70	57	74

資料：警察庁『薬物乱用のない社会を』

○ 薬物乱用者の、薬物の危険（有害）性の認識の比較



大麻に対する危険（有害）性の認識は、「なし（全くない、あまりない）」が79.5%です。覚醒剤と比較すると、危険（有害）性への認識はとても低いことがわかります。



インターネット上には「大麻は身体への悪影響がない」「依存性が無い」と、間違った情報が氾濫しています。

大麻は、特に成長期にある青少年の脳に悪影響を及ぼします。うつ病、記憶障害を引き起こすなど、メンタルヘルスにも悪影響があります。

○ 大麻の有害性

知覚の変化～時間や空間の感覚がゆがむ

学習能力の低下～短期記憶が妨げられる

運動失調～瞬時の反応が遅れる

精神障害～統合失調症やうつ病を発症しやすくなる

IQ（知能指数）の低下～短期・長期記憶や情報処理速度が下がる

薬物依存～大麻への欲求が抑えられなくなる

大麻草に含まれる有害な物質はTHC（テトラヒドロカンナビノール）といい、法律で規制されています。

最近、若者の間で流行しているアロマには、大麻由来のCBD（カンナビジオール）が配合されているものもあります。日本では、一部のCBDは規制の対象外となっていますが、法律で規制されている有害なTHC成分が混入している場合は、違法となります。

NO!



～もし先輩や友達に誘われたら～子ども達に伝えてください

- ① その場の雰囲気流されずに、はっきりと、何度も断る
- ② 話題を変える、その場から離れる
誘いをかわしたり、危ない場合は逃げてしまう
- ③ 必ず大人に相談する
誘われた事を、保護者や信頼できる大人に相談し、助けてもらう